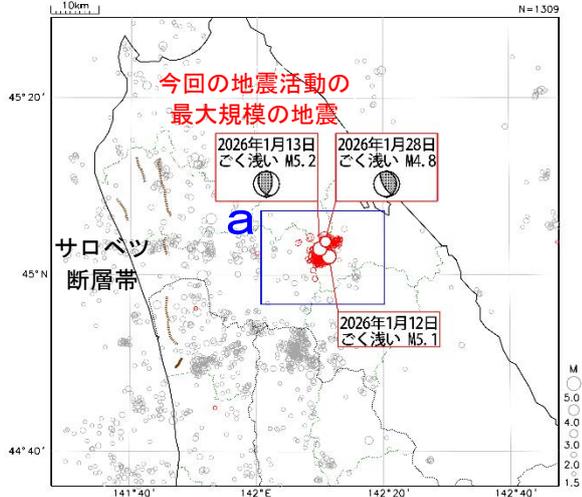


## 1月12日からの宗谷地方北部・南部の地震活動

震央分布図

(2001年10月1日～2026年1月31日、  
深さ0～30km、 $M \geq 1.5$ )  
2026年1月に発生した地震を**赤色**で表示  
図中の発震機構はCMT解



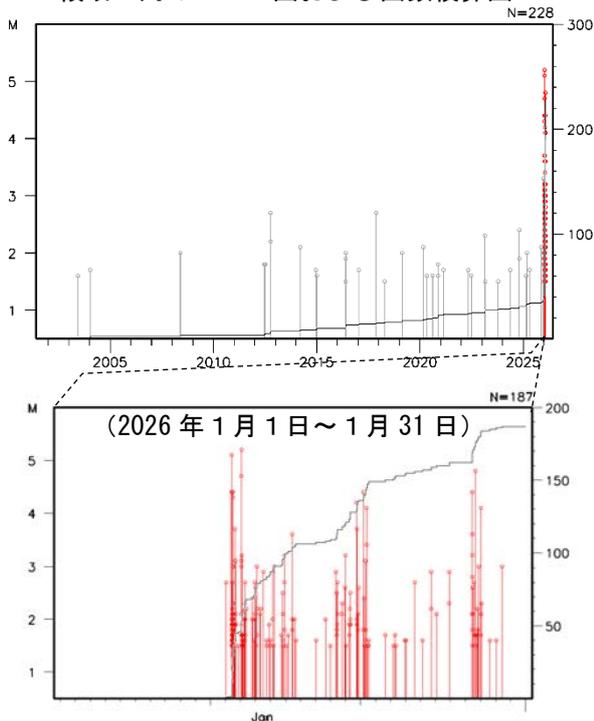
震央分布図中の茶線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す。

宗谷地方北部・南部では、2026年1月12日01時頃からややまとまった活動が見られ、31日までに、震度1以上を観測した地震が41回（震度3：5回、震度2：12回、震度1：24回）発生した。これらの地震は地殻内で発生した。このうち最大規模の地震は13日01時58分に発生したM5.2の地震（最大震度3）である。この地震の発震機構（CMT解）は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

2001年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、M3程度の地震がまれに発生しているが、M5.0以上の地震は発生していなかった。

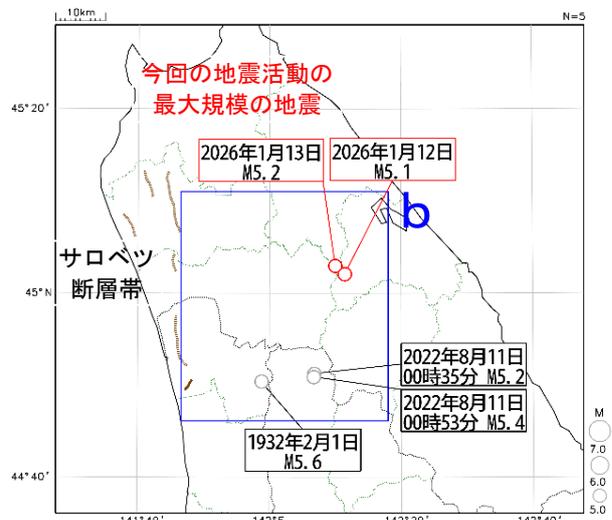
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M5.0以上の地震が今回の活動を除いて3回発生している。2022年8月11日に発生したM5.4の地震（最大震度5強）により、住家被害2棟の被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

領域a内のM-T図および回数積算図



震央分布図

(1919年1月1日～2026年1月31日、  
深さ0～60km、 $M \geq 5.0$ )



領域b内のM-T図

